

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	リーベリー		
○保護者評価実施期間	令和7年1月17日		～ 令和7年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	令和7年1月17日		～ 令和7年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	情動共有体験や自己肯定感を持てるための関わり	本人の状況に応じて、個別対応からの本人のペースに合わせた関わりから、人に対する信頼感の再構築、スモールステップでの小集団への参加意欲の積み上げを行っています。	本人との定期的な面談を行い、より早くニーズの変化に気づき、適切な支援に繋げていきます。
2	利用者のほとんどが中高生であるため、将来の社会生活から見た必要なことに対する支援を行っていること	自己理解や感情調整のプログラムの提供、他者の意見を聞き考え方の幅を広げるための活動、働く場の見学等を行っています。	本人との定期的な面談を行い、相談をしてよかったと思える経験を増やし、相談することの必要性を感じられるようにしていきます。
3			

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域に向けた事業運営の乏しさ	年に1度の法人主催の祭りは再開し地域の方に招待も行ったが、事業所としての活動は日々の地域に出る活動以外できていないため。	リーベリー主催の地域の方々に向けたイベントを利用者と考え実施します。
2	リーベリーでの取り組みについての発信力の弱さ	実際に取り組んでいることがあっても、発信ができておらず周知に至れていないため。	SNS等を活用し、行った取り組みを周知していきます。
3			